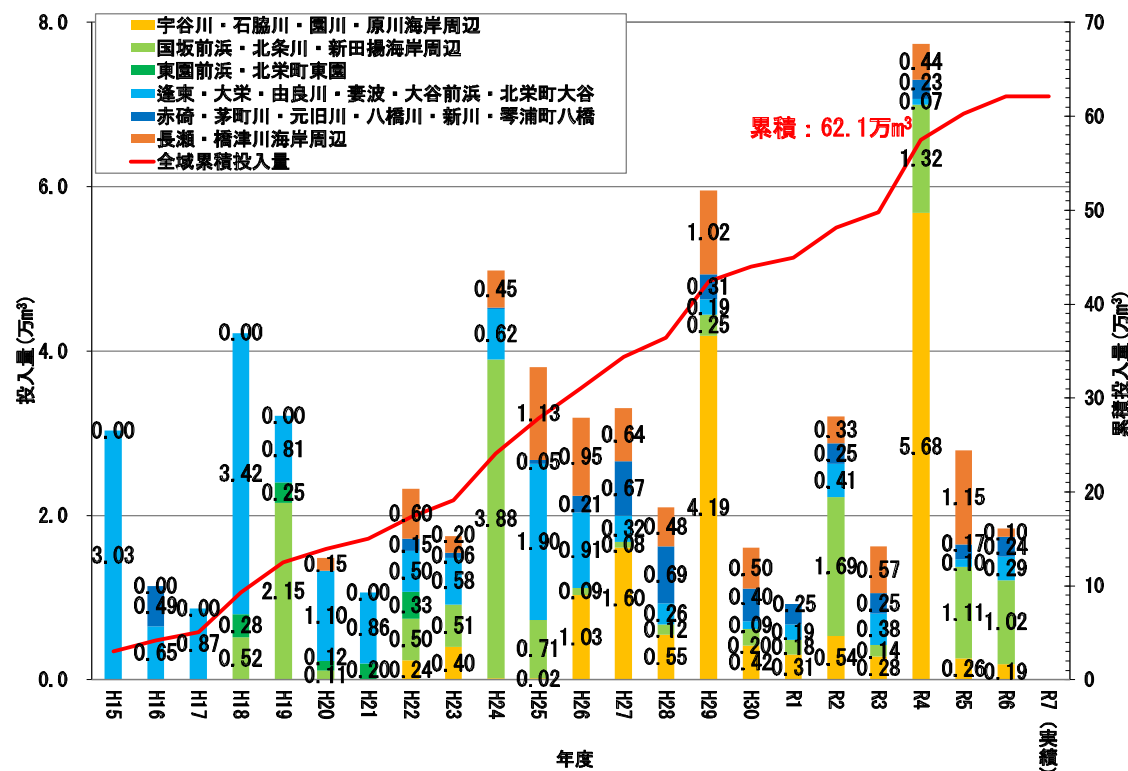


≧サンドリサイクル実績(中部沿岸における養浜の推移)

7

【R6年度土砂投入実績】

- R6年度はR5年度と同様にサンドリサイクルが実施されたが、土砂投入量は減少した。
- 北条川放水路の河口では近年河口閉塞が多く発生しており、10,200m³の河口掘削が実施された。



中部沿岸における土砂投入量

※投入実績はR7年7月現在

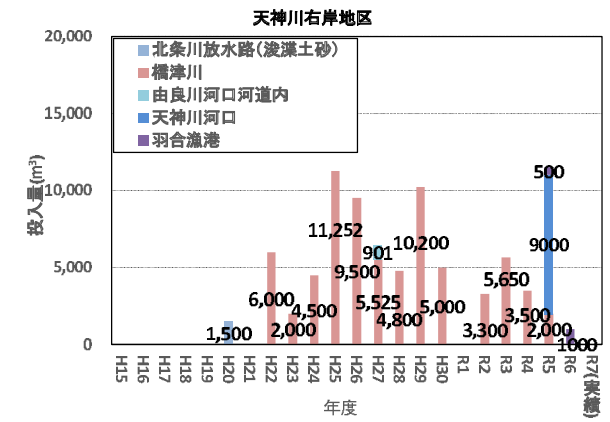
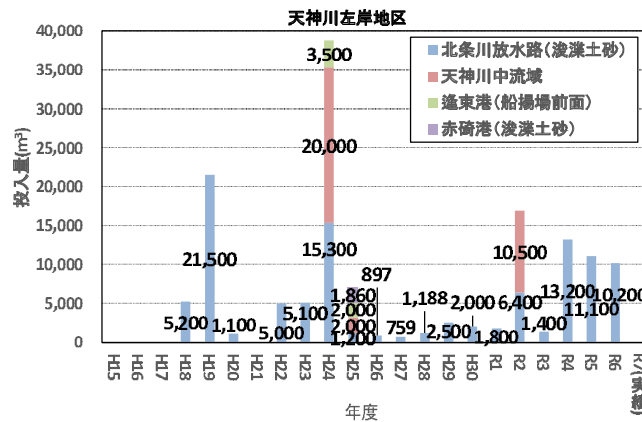
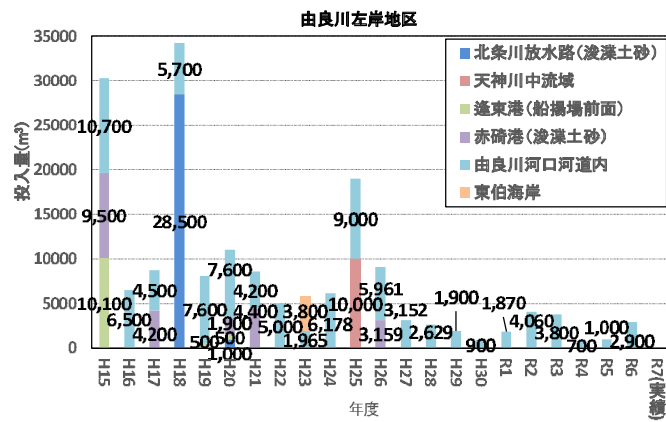
令和6年度の土砂投入実績

実施時期	投入場所	採取場所	投入量(m ³)
R6.5~8	宇谷川海岸沖(漁港海岸)	泊漁港	1,900
R7.3	羽合漁港管理区域 長瀬海岸	羽合漁港	1,000
天神川左岸地区(天神川河口左岸~北条川放水路右岸)			
実施時期	投入場所	採取場所	投入量(m ³)
R6.3~R7.3	北条川放水路隣接海岸	北条川放水路河口	10,200
由良川左岸地区(由良川河口左岸~逢東船揚場)			
実施時期	投入場所	採取場所	投入量(m ³)
R6.11~R7.1	妻波海岸	由良川河口	2,900
赤碓港~逢東船揚場			
実施時期	投入場所	採取場所	投入量(m ³)
R6.7	琴浦町八橋(港湾海岸)	八橋海岸	220
R6.6	琴浦町八橋(港湾海岸)	逢東船揚場浚渫	2,000
R6.6~R7.3	元旧川隣接海岸	元旧川河口	50
R6.9~R7.3	茅町川隣接海岸	茅町川河口	50
R6.9~R7.3	八橋川隣接海岸	八橋川河口	50
R6.9~R7.3	八橋新川隣接海岸	新川河口	50

合計: 18,420

≧サンドリサイクル実績(各海岸における養浜の推移)

8



※投入実績はR7年7月現在

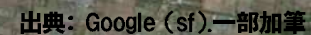


中部沿岸における土砂投入状況(土砂投入量)

②由良川左岸～天神川左岸



③ 逢束船揚場～由良川左岸

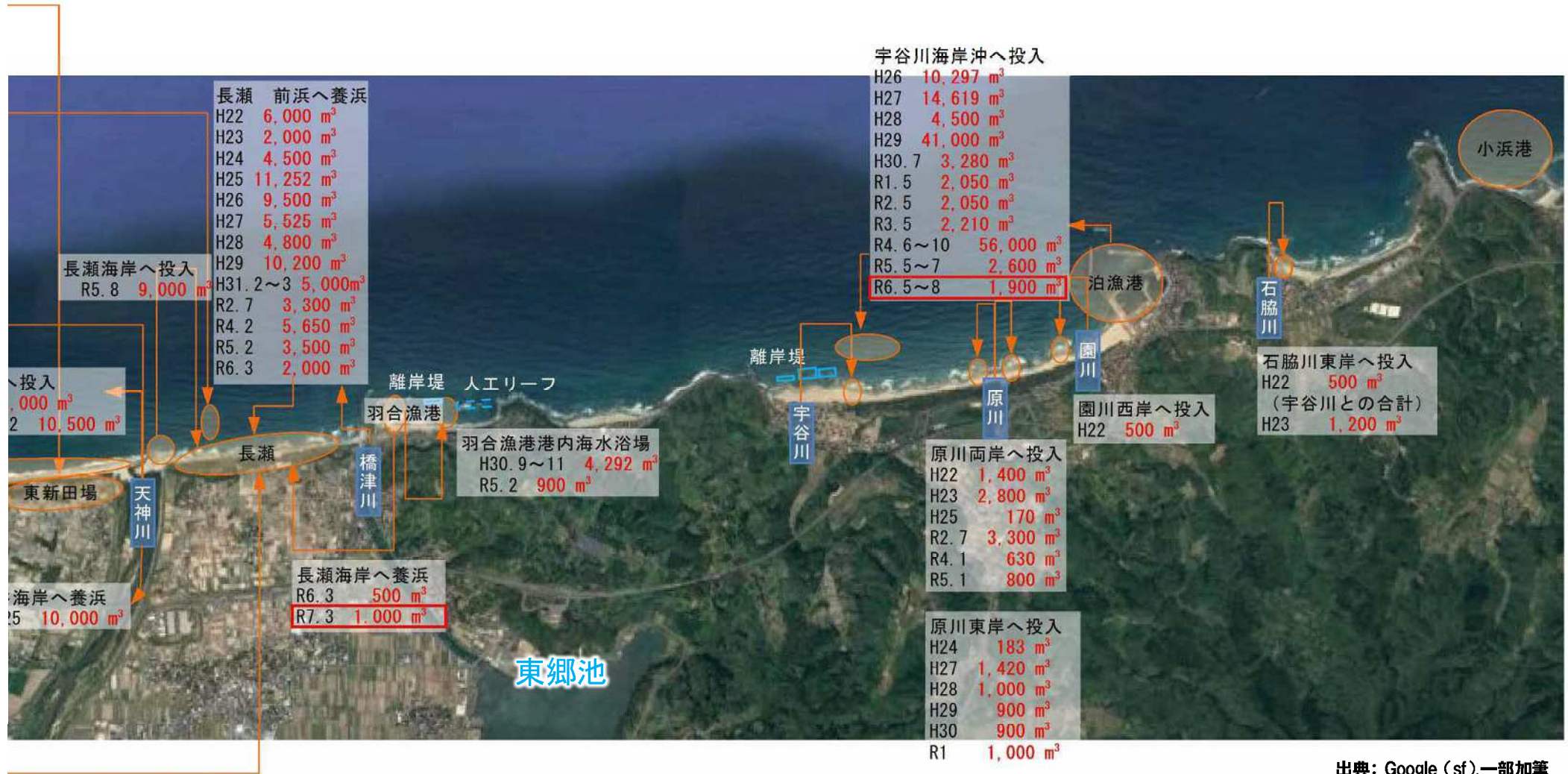


※R6年度に実施した養浜時期・養浜量を赤枠で記載

≧サンドリサイクル実績(①天神川右岸～小浜港)

10

○ R6年度は、羽合漁港から長瀬海岸へ1,000m³の養浜と、泊漁港から宇谷川海岸沖へ1,900m³の海上投入が実施された。



出典: Google (sf).一部加筆

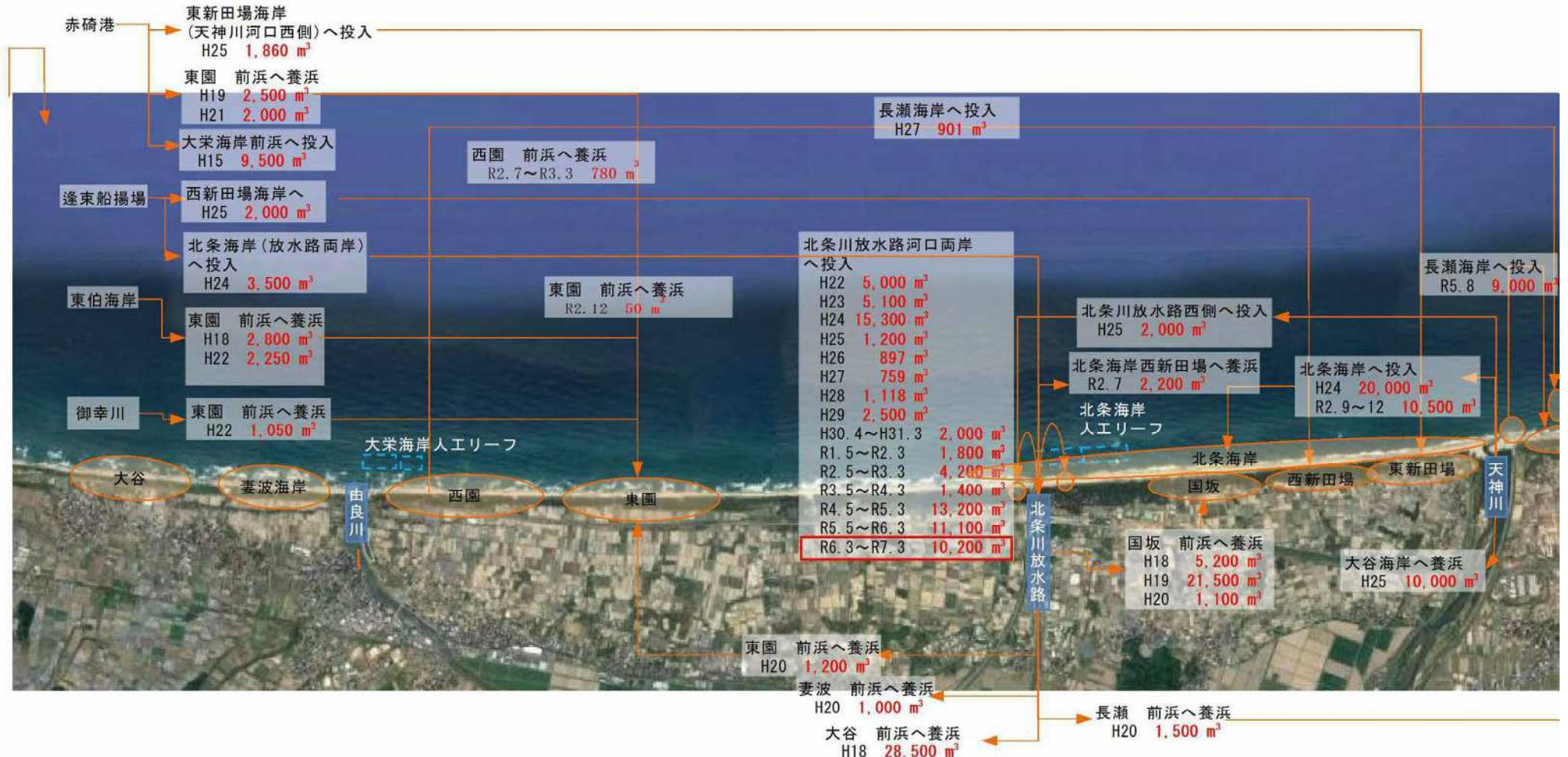
※R6年度に実施した養浜時期・養浜量を赤枠で記載

中部沿岸における土砂投入状況(土砂投入箇所)

≧サンドリサイクル実績(② 由良川左岸～天神川左岸)

11

OR4年度から北条川放水路の河口閉塞が頻発しており、その土砂撤去に伴う養浜が実施されている。



出典: Google (sf).一部加筆

※R6年度に実施した養浜時期・養浜量を赤枠で記載

中部沿岸における土砂投入状況(土砂投入箇所)

○由良川左岸から逢東船揚場にかけて、近年大きな浚渫（養浜）は実施されていない。

R6年度は、由良川河口から妻波海岸へ2,900m³、東伯海岸から琴浦町八橋へ220m³のサンドバイパスが実施された。



出典：Google (sf).一部加筆

※R6年度に実施した養浜時期・養浜量を赤字で記載

中部沿岸における土砂投入状況(土砂投入箇所)

≧サンドリサイクル実績(④ 赤碕港～逢東船揚場)

○河口閉塞に伴う浚渫（養浜）が例年と同程度実施されている。

※赤碕港の浚渫土はヘドロで養浜材料としては適さないことから残土処分されている。



中部沿岸における土砂投入状況(土砂投入箇所)

出典: Google (sf).一部加筆

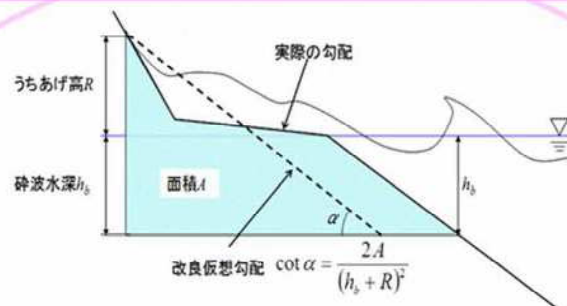
※R6年度に実施した養浜時期・養浜量を赤枠で記載

➤【参考】鳥取沿岸の目標とする浜幅(目安)

14

- ・ H26 (2014) 年に砂浜管理の目安として、浜幅の目標値を以下の通り定義した。

『防護』で必要な浜幅 ⇒ 25m



『環境』に適した浜幅 ⇒ 施工配慮



海浜に生息する動植物、「白砂青松の海岸」、
「山陰海岸国立公園」等の景勝地に影響のない
浜幅を検討。

越波防止の観点・過去の海岸侵食状況を考慮
して設定。
※越波防止に関しては「中村の仮想勾配法」に
よる波のうちあげ高を算出。

『利用』に適した浜幅 ⇒ 40m



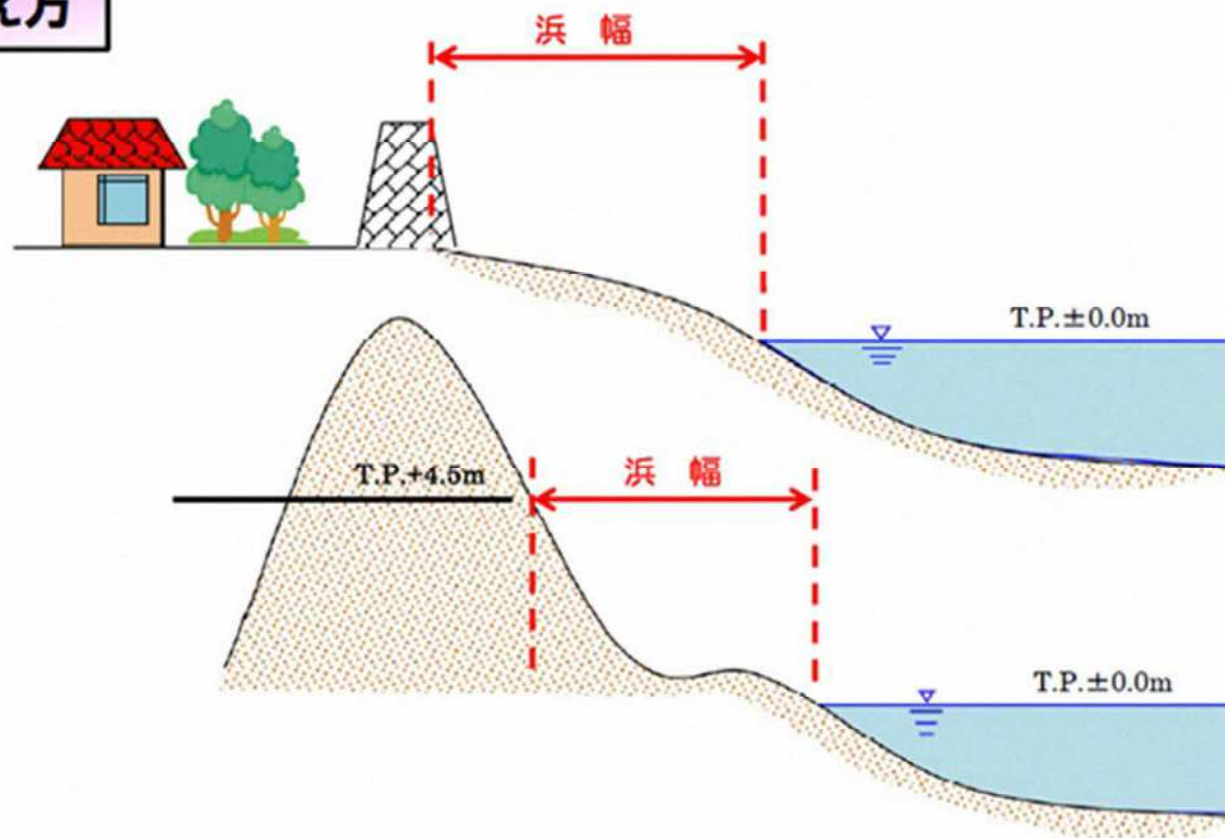
海水浴場・地引網・キャンプ等の海浜レクリ
エーションで利用しやすい浜幅を検討。

「国土交通省港湾局監修(2005.10):ビーチ
計画・設計マニュアル(改訂版)」海水浴客の
海浜幅に対する評価より、40mと設定。

浜幅基準の考え方

堤防の場合

施設なしの場合



浜幅設定パターン	設定方法
①施設(堤防・護岸)あり	施設の天端法肩からT.P.±0.0mまでの範囲
②施設なし (堤防・護岸隣接)	隣接する施設の法線位置(天端法肩)からT.P.±0.0mまでの範囲
③施設なし※ (背後地:護岸隣接なし)→鳥取砂丘	現況地形におけるもっとも海側で計画堤防高(T.P.+4.5m)相当の標高位置からT.P.±0.0mまでの範囲

※T.P.+4.5mが確認できない地点は、過年度に設定された「砂浜幅整理のための基準」を基に浜幅を算出